

(4) ハザードリスク

| リスク ファクター | リスク・機会の内容 | リスク顕在化の影響 | 当社グループの取り組み |
|---|---|--|---|
| ① 甚大な災害、 世界的な感染症 拡大(パンデ ミック)の発生 [重点リスク] | <リスク> ・従業員への被害 ・物流網の遮断 ・当社グループ資産(建物、設備等)、顧 客商品への被害 | ・事業への影響(操業停止等)による売 上、利益の減少 ・復旧にかかる費用の発生及び資産の減 損損失 | ・地域に応じた事業中断リス クの評価と早期の事業復旧 に向けたBCP策定 ・パンデミック発生時のグロ ーバル組織としての情報収 集、就業規則などのルール 整備 ・BCM(事業継続マネジメン ト)の遂行 |
| ② 資本に関する 脅威 [重点リスク] | <リスク> ・大株主の資本政策の変更 ・特定投資者による当社株式の大量取得 による経営支配権の異動 | ・経営の混乱 ・現経営陣のイニシアティブ低下 ・事業の混乱 | ・企業価値の向上による株式 時価総額の引き上げ ・成長機会への投資 ・株主還元増加 |
| ③ 戦争テロ、政 情不安(地政学 的リスク) | <リスク> ・従業員への被害 ・事業への影響 ・当社グループ資産(建物、設備等)、顧 客商品への被害 | ・事業への影響(操業停止等)による売 上、利益の減少 ・復旧にかかる費用の発生及び資産の減 損 | ・定常的な情勢分析、モニタ リング ・異常発生時の意思決定の迅 速化 ・海外拠点BCP(事業継続 計画)の策定 |
| ④ 情報の消失、 漏洩 | <リスク> ・情報セキュリティ事故、サイバー攻 撃、大規模なシステム障害等による顧 客情報等のデータ消失又は漏洩 | ・社会的信頼の低下による企業価値の毀 損 ・顧客の信頼、社会的信用の低下による 売上、利益の減少 ・復旧にかかる費用の発生 ・顧客からの損害賠償の発生 | ・内部監査や社内研修等を通 じた情報資産管理の強化 ・情報セキュリティに関する ルールの整備と周知 ・サイバー攻撃に対応する体 制の構築と最新の対応技術 への継続的なブラッシュア ップ ・定期的なリスクアセスメン トと対策の実施 |
| ⑤ 事業展開地域 の経済停滞 | <リスク> ・実体経済の悪化による顧客事業の低迷 ・通貨安による資本流失、金融危機の発 生 | ・顧客の事業悪化に起因する物量減少等 による売上、利益の減少 | ・マクロ環境変化が顧客に与 える影響を注視、分析 ・他地域でのバランスを持っ たプレゼンスの活用 |